

アクサの変額保険、「外国型」追加 円安で外貨需要

2022/06/29 02:00 日本経済新聞電子版 453文字

アクサ生命保険は運用成績によって受取額が変わる変額保険で、9月から外国株式型と外国債券型を新たに加える。保険料は為替変動の影響を抑える「為替ヘッジ」を実施しないため、円安が進行すれば、満期時に受け取る保険金はその分だけ円換算の価値が上昇する。円建て資産の価格が下落する中、外貨建て資産への投資需要を取り込む考えだ。

増やすのは外貨建て資産指数に連動するパッシブ型。従来入れていた日本株投信と新興国株投信に追加する。円高が進行すればその分だけ円換算の保険金は目減りし、株価や債券価格が変動すれば、元本割れリスクもある。保険金を受け取るのが老後でそれまでに物価が上昇すれば、払ったお金の価値が低下していくリスクもある。

アクサ生命は変額保険「ユニット・リンク」を発売し、新たに獲得した契約から得られる保険料は2021年に587億円に達した。預かり資産の拡大を踏まえ、9月に一部の投信で運用手数料に相当する信託報酬も引き下げる予定だ。たとえば米国株などで運用するアクティブ投信は年0.55%から0.495%に下げる。

許諾番号30088488 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報(以下「情報」)の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.